

News Release

「不動産・住宅業界で働く FP を対象とした意識調査」調査結果

CFP®・AFP 資格の取得満足度 約 80%

日本FP協会(所在地 東京都港区、理事長 白根壽晴)は、2021年2月15日～3月3日の17日間、当協会会員であるファイナンシャル・プランナー(CFP®・AFP認定者)のうち、不動産・住宅・建設業で勤務される方を対象に意識調査を実施し、1,262名の回答結果を集計、公開しました。

住宅購入や不動産運用は、人生の中でも多額の費用を要するライフイベントです。それらのイベントに立ち会うこととなる不動産・住宅といった業種において、ファイナンシャル・プランナー資格で得た知識がどのように活用されているのか、また今後の必要性について、実務に携わる方々の声が反映された調査結果となっています。

■調査結果の概要(詳細は別紙)

◆CFP®資格・AFP資格を取得した目的

「仕事で活かすため」と「仕事上で必要なため(勤務先からの指示・推奨)」の合計が 67.2%であり、約 7 割が仕事で活用することを目的としている。

◆CFP®資格・AFP 資格取得に対する満足度

CFP®資格・AFP 資格を取得したことの満足度は 78.5%と高い結果となった。

特に CFP®認定者の満足度は 9 割近くにのぼり、住宅・不動産業界において実用性のある資格であると察せられる。

◆CFP®資格・AFP 資格を取得したことに満足している理由

「仕事・業務に役立っている」が 60.9%でトップであり、CFP®・AFP 資格で学んだ知識を活かし、仕事で成果を得ることに繋がっているという事例が目立つ。次いで、「自分や家族のライフプランに役立っている」が 44.8%となった。

◆仕事上で関わることが多い FP 分野は「不動産運用設計」、「相続・事業承継設計」、「タックスプランニング」が上位※ FP 分野の中でも、不動産運用設計(67.1%)と相続・事業承継設計(48.4%)、タックスプランニング(41.9%)の関連性の強さが示される結果となった。

◆今後の不動産・住宅業界における CFP®資格・AFP 資格の必要性

「全般的に必要性が高まる」が 54.4%でトップ。「一部の FP 分野において必要性が高まる」のうち、相続・事業承継設計(26.4%)、不動産運用設計(24.4%)が並ぶ。

FP 技能検定、CFP®資格、AFP 資格については別紙をご覧ください

※FP 分野とは、「ライフプランニング・リタイアメントプランニング、リスクと保険、金融資産運用設計、タックスプランニング、不動産運用設計、相続・事業承継設計」の 6 分野を指します。ファイナンシャル・プランナー(CFP®・AFP 認定者)は、専門家として必要とされるこれらの知識を取得しています。

◆本件に関するお問合せ先				
担当	日本 FP 協会 広報部広報課 伊藤・鈴木	TEL 03-5403-9742	FAX 03-5403-9795	E-mail info@jafp.or.jp

※ CFP®、CFP®, CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®, およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSB とのライセンス契約の下に、日本国内においては NPO 法人日本 FP 協会が商標の使用を認めています。
※AFP、AFFILIATED FINANCIAL PLANNER およびアフィリエイトド ファイナンシャル プランナーは、NPO 法人日本 FP 協会の登録商標です。

特定非営利活動法人(NPO 法人) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 5F

TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜 1-4-19 マニユライフプレイス堂島 5F

TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065



【調査の実施概要】

- ・調査目的: 特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会会員のうち、属性を「不動産・住宅・建設」として登録している方を対象に、FP 知識の活用状況や今後の不動産・住宅業界における FP 資格の必要性に関する調査を行い、その結果を今後の協会運営や FP の認知普及に役立てること。
- ・調査対象: 属性を「不動産・住宅・建設」として登録している CFP[®]認定者・AFP 認定者のうち、メールアドレスを登録しており、かつ(本部からの)メール配信を希望している方
- ・調査地域: 全国
- ・調査方法: インターネット調査(Google フォームを利用)
- ・調査実施期間: 2021 年 2 月 15 日(月)～2021 年 3 月 3 日(水)
- ・メール配信数: 9,747 サンプル
- ・有効回答数: 1,262 サンプル(回収率 12.9%)
- ・調査主体: 特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 広報部調査研究課
- ・留意事項: 図表中の「n」は算出の母数(回答者総数)である。
小数点第 2 位での四捨五入のため、個々の比率の合計が 100%にならない場合がある。

【FP 技能検定・CFP[®]資格・AFP 資格について】

■ファイナンシャル・プランニング(FP)技能検定

職業能力開発促進法に基づく技能検定制度の一つで、1 級～3 級までである国家検定です。当協会は厚生労働大臣から「ファイナンシャル・プランニング」の職種について指定試験機関の指定を受け、試験を実施しています。

■CFP[®]資格

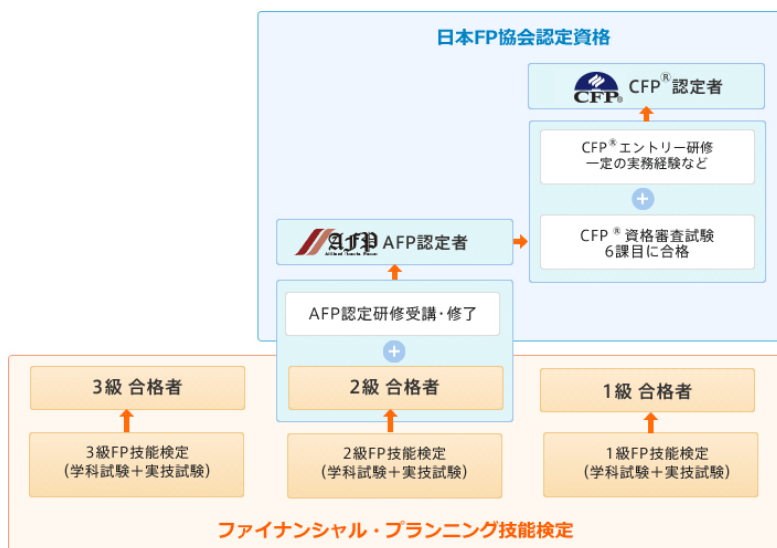
CFP[®]資格は、高度な知識と経験をもって長期的かつ総合的な視点で適切なアドバイスをし、他の FP の規範となる確固たる職業倫理を身につけているプロフェッショナルとして認定される資格です。認定にあたっては CFP[®]資格審査試験の合格と倫理・コンプライアンスや相談実務に関する研修の修了、通算 3 年以上の実務経験が要件になります。

北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアを中心に世界 26 カ国・地域(アソシエート・メンバー含む、2020 年末時点)で導入されている国際的な資格であり、日本においては当協会が認定しています。

■AFP 資格

専門家として必要な知識を持ち、顧客に対して適切なアドバイスを提供できる FP に与えられる資格で、日本 FP 協会が独自に認定しています。

2 級 FP 技能検定の合格と、顧客への提案を想定した「提案書」の作成が盛り込まれた当協会認定の研修「AFP 認定研修」を修了することで取得でき、取得することで CFP[®]資格審査試験の受験資格が得られます。



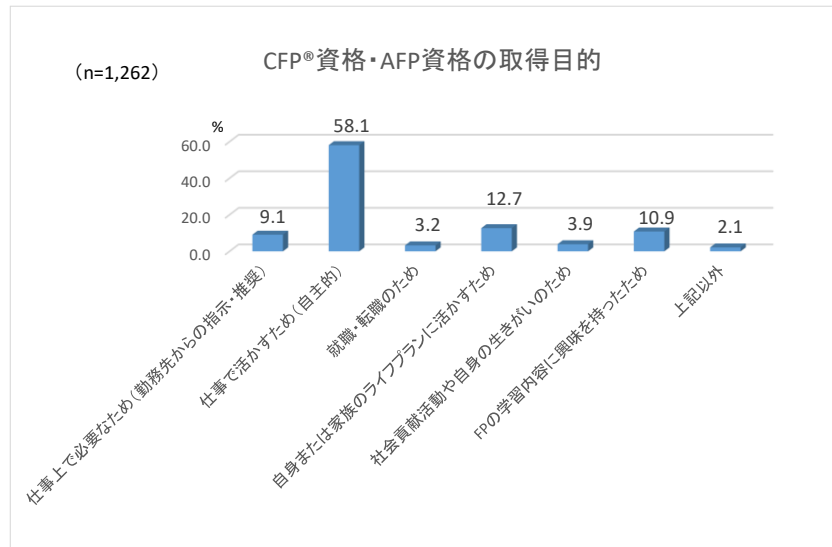
調査結果の詳細は次頁以降をご覧ください。

【CFP®資格・AFP 資格を取得した目的】

Q. あなたが「CFP®資格・AFP 資格を取得した目的」をお教えてください（ひとつのみ）。

⇒「仕事で活かすため(自主的)(58.1%)」がもっとも高く、「自身または家族のライフプランに活かすため(12.7%)」と「FPの学習内容に興味を持ったため(10.9%)」が続く。

全体の約7割が仕事で活用することを目的としながらも、勤務先からの指示・推奨で資格取得を目指す割合は1割未満と低く、自主的に資格を取得したパターンが多い。

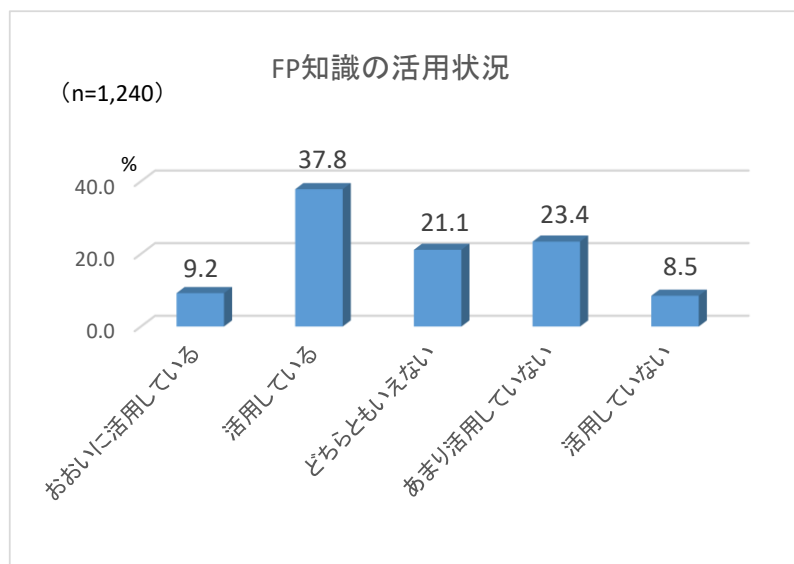


【勤務先におけるFP知識の活用状況】

Q. あなたは、勤務先においてFP関連の知識を活用していますか（ひとつのみ）。

⇒「おおいに活用している(9.2%)」と「活用している(37.8%)」、合わせて47.0%が活用していると回答。

不動産仲介業や不動産販売代理業など「不動産の流通に関わる仕事(57.9%)」において、活用度が高い。



Q.勤務先におけるFP知識の活用状況		n	おおいに活用している	活用している	どちらともいえない	あまり活用していない	活用していない
全体		1,240	9.2	37.8	21.1	23.4	8.5
Q.仕事内容	不動産の開発に関わる仕事 (例:デベロッパーなど)	112	7.1	42.0	29.5	16.1	5.4
	不動産の流通に関わる仕事 (例:不動産仲介業、 不動産販売代理業など)	354	11.3	46.6	16.1	22.3	3.7
	不動産の管理に関わる仕事 (例:不動産管理会社など)	266	7.1	33.5	21.8	27.4	10.2
	住宅等建物建築に関わる仕事 (例:工務店勤務、大工など)	262	9.5	37.0	24.4	21.8	7.3
	上記以外	246	8.9	28.9	20.3	25.6	16.3

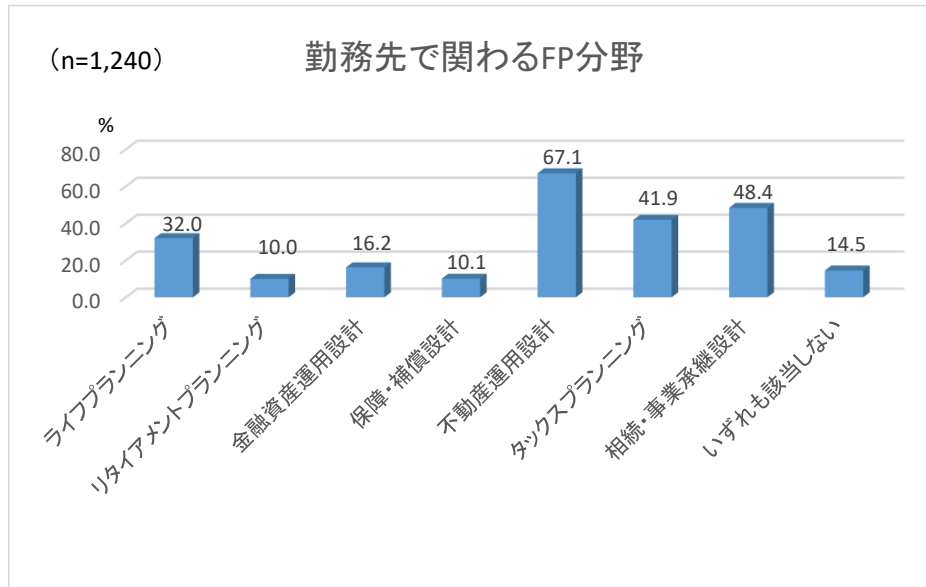
【勤務先で関わるFP分野】

Q. あなたが「勤務先で関わるFP分野」をお教えてください（複数回答可）。

⇒「不動産運用設計」が67.1%でトップ。「相続・事業承継設計(48.4%)」と「タックスプランニング(41.9%)」が続く。

「相続・事業承継設計」の分野は、開発(50.9%)、流通(61.0%)、管理(47.4%)、住宅等建物建築(47.7%)に関わる仕事において、それぞれ約5割が関わっていると回答している。

「タックスプランニング(41.9%)」も同様となり、それぞれ約4割が回答している。



Q.勤務先で関わるFP分野(複数回答可)		n	ライフプランニング	リタイアメントプランニング	金融資産運用設計	保障・補償設計	不動産運用設計	タックスプランニング	相続・事業承継設計	いずれも該当しない
全体		1,240	32.0	10.0	16.2	10.1	67.1	41.9	48.4	14.5
Q.仕事内容	不動産の開発に関わる仕事 (例:デベロッパーなど)	112	31.3	12.5	23.2	8.9	80.4	46.4	50.9	6.3
	不動産の流通に関わる仕事 (例:不動産仲介業、 不動産販売代理業など)	354	37.3	11.6	16.7	10.2	81.1	42.4	61.0	6.2
	不動産の管理に関わる仕事 (例:不動産管理会社など)	266	15.4	8.3	16.5	11.3	71.4	39.1	47.4	18.0
	住宅等建物建築に関わる仕事 (例:工務店勤務、大工など)	262	45.8	9.5	11.5	10.3	58.8	41.6	47.7	12.6
	上記以外	246	28.0	8.9	17.1	8.9	45.1	42.7	30.9	28.5

資格に対する満足度・意識について

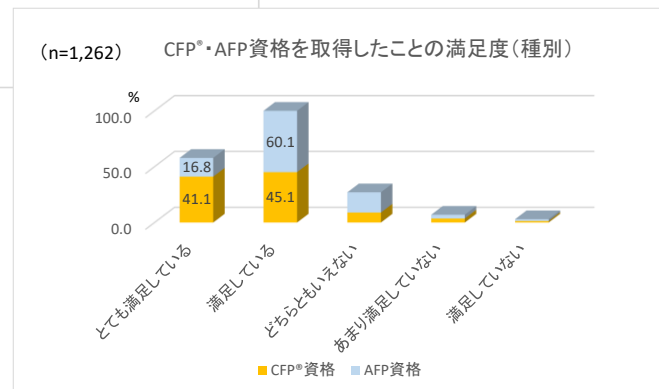
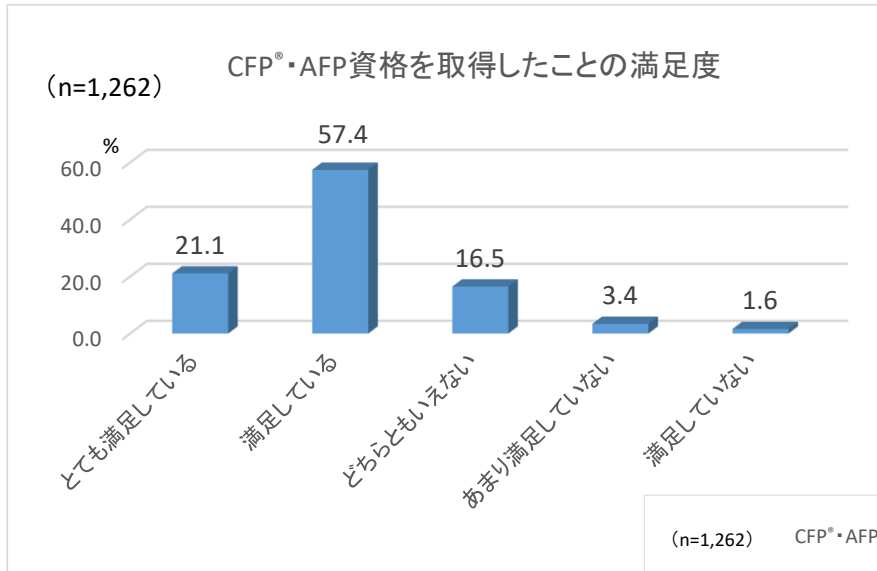
【CFP®資格・AFP 資格取得に対する満足度】

Q. あなたは、CFP®資格・AFP 資格を取得したことに満足していますか(ひとつのみ)。

⇒「満足している(57.4%)」、「とても満足している(21.1%)」の合計は 78.5%となり、多くが資格取得に満足感を持っている。

年代別では 60 代以上のうち 82.2%が、仕事内容別ではデベロッパーなどの不動産の開発に携わる CFP®・AFP 認定者のうち、84.8%が「満足している」、「とても満足している」と回答している。

資格種別でみると、AFP 認定者の満足度は 76.9%、CFP®認定者の満足度は 86.2%であり、住宅・不動産業界において実用性のある資格であることが察せられる。

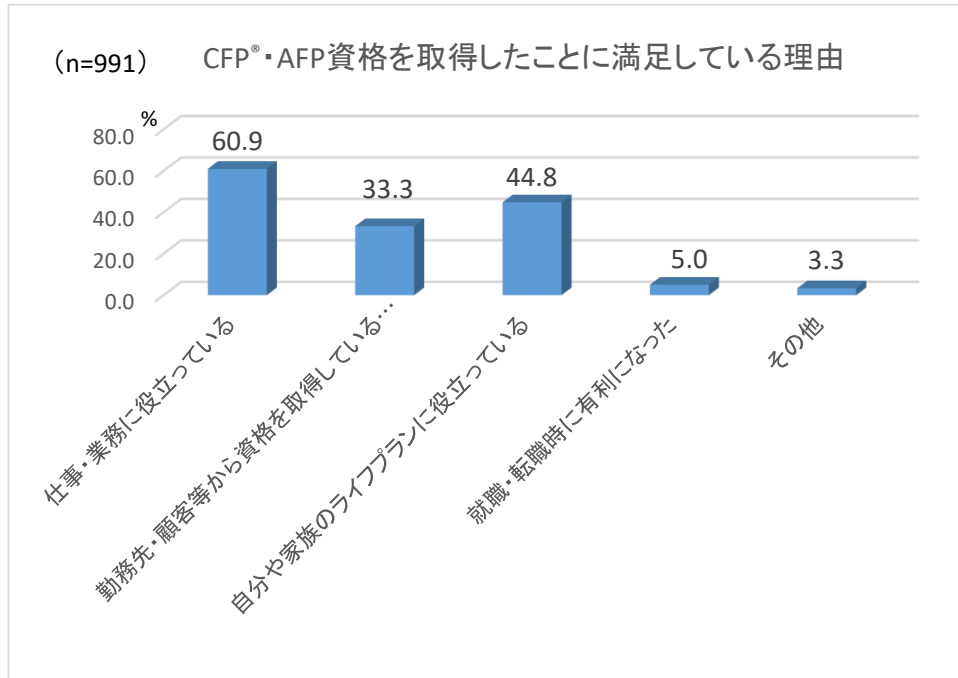


Q.CFP®資格・AFP資格を取得したことの満足度		n	とても満足している	満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
全体		1,262	21.1	57.4	16.5	3.4	1.6
Q.年代	20代	18	16.7	61.1	11.1	11.1	0.0
	30代	85	21.2	56.5	16.5	4.7	1.2
	40代	410	22.0	54.4	17.3	4.6	1.7
	50代	490	21.4	57.1	16.9	2.7	1.8
	60代以上	259	19.3	62.9	14.7	1.9	1.2
Q.仕事内容	不動産の開発に関わる仕事 (例:デベロッパーなど)	112	20.5	64.3	12.5	2.7	0.0
	不動産の流通に関わる仕事 (例:不動産仲介業、 不動産販売代理業など)	354	21.8	55.4	17.5	3.7	1.7
	不動産の管理に関わる仕事 (例:不動産管理会社など)	266	19.5	55.6	19.9	3.8	1.1
	住宅等建物建築に関わる仕事 (例:工務店勤務、大工など)	262	19.8	59.2	16.0	3.4	1.5
	上記以外	246	24.4	56.5	13.0	3.3	2.8
	その他 (例:休職・転職活動中など)	22	9.1	68.2	22.7	0.0	0.0

【満足している理由】

Q. あなたが、CFP®資格・AFP 資格を取得したことに満足している理由をお教えてください(複数回答可)。

⇒「仕事・業務に役立っている」が60.9%でトップ。「自分や家族のライフプランに役立っている」が44.8%で続く。不動産仲介業や不動産販売代理業などの「不動産の流通に関わる仕事」の7割が、「仕事・業務に役立っている」ことを満足している理由に挙げている。



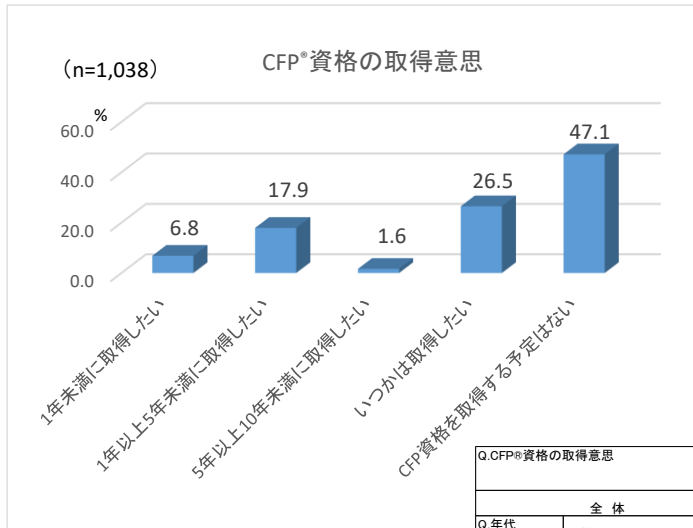
Q.CFP®資格・AFP資格を取得したことに満足している理由(複数回答可)		n	仕事・業務に役立っている	勤務先・顧客等から資格を取得していることを評価された	自分や家族のライフプランに役立っている	就職・転職時に有利になった	その他
全体		991	60.9	33.3	44.8	5.0	3.3
Q.性別	男性	788	64.3	32.5	41.8	4.1	2.7
	女性	203	47.8	36.5	56.7	8.9	5.4
Q.居住地域	北海道	42	66.7	31.0	50.0	4.8	2.4
	東北	57	75.4	40.4	54.4	3.5	0.0
	関東	454	57.5	31.5	45.6	3.1	4.4
	北陸	41	56.1	46.3	48.8	2.4	2.4
	東海	83	62.7	36.1	37.3	12.0	4.8
	近畿	154	53.2	35.7	44.2	9.1	1.3
	中国・四国	67	76.1	35.8	41.8	1.5	1.5
	九州	93	68.8	24.7	40.9	6.5	3.2
Q.年代	20代	14	71.4	57.1	0.0	7.1	7.1
	30代	66	65.2	43.9	51.5	12.1	4.5
	40代	313	61.0	33.9	47.0	5.8	2.9
	50代	385	58.2	29.9	45.5	4.2	4.2
	60代以上	213	63.8	33.8	41.3	3.3	1.4
Q.仕事内容	不動産の開発に関わる仕事(例:デベロッパーなど)	95	61.1	35.8	41.1	8.4	3.2
	不動産の流通に関わる仕事(例:不動産仲介業、不動産販売代理業など)	273	70.7	38.1	37.0	2.9	3.3
	不動産の管理に関わる仕事(例:不動産管理会社など)	200	57.5	31.0	45.0	4.0	5.5
	住宅等建物建築に関わる仕事(例:工務店勤務、大工など)	207	64.3	37.7	44.4	5.3	1.0
	上記以外	199	50.8	25.1	55.3	7.5	2.5
	その他(例:休職・転職活動中など)	17	23.5	11.8	70.6	0.0	11.8

【今後のCFP®資格の取得意思（AFP認定者のみ回答）】

Q. 今後、あなたはCFP®資格を取得したいですか（ひとつのみ）。

⇒AFP認定者の5割以上(52.8%)が、CFP®資格の取得意思がある。

年代別では、20代(72.2%)、30代(77.1%)、40代(61.7%)の若い世代の取得意思が目立ち、仕事内容別ではデベロッパーなどの「不動産の開発に関わる仕事(59.3%)」が高い。



Q.CFP®資格の取得意思		n	1年未満に取得したい	1年以上5年未満に取得したい	5年以上10年未満に取得したい	いつかは取得したい	CFP®資格を取得する予定はない
全体		1,038	6.8	17.9	1.6	26.5	47.1
Q.年代	20代	18	27.8	22.2	0.0	22.2	27.8
	30代	70	12.9	31.4	1.4	31.4	22.9
	40代	339	8.0	20.6	2.4	30.7	38.3
	50代	403	5.0	15.6	1.2	25.6	52.6
	60代以上	208	4.8	13.0	1.4	20.2	60.6
Q.仕事内容	不動産の開発に関わる仕事 (例:デベロッパーなど)	91	12.1	20.9	1.1	25.3	40.7
	不動産の流通に関わる仕事 (例:不動産仲介業、不動産販売代理業など)	292	6.8	18.2	2.1	26.4	46.6
	不動産の管理に関わる仕事 (例:不動産管理会社など)	205	7.8	18.5	0.5	27.3	45.9
	住宅等建物建築に関わる仕事 (例:工務店勤務、大工など)	236	3.0	17.4	0.8	26.7	52.1
	上記以外	196	7.7	16.3	3.6	26.5	45.9
	その他 (例:休職・転職活動中など)	18	11.1	16.7	0.0	22.2	50.0

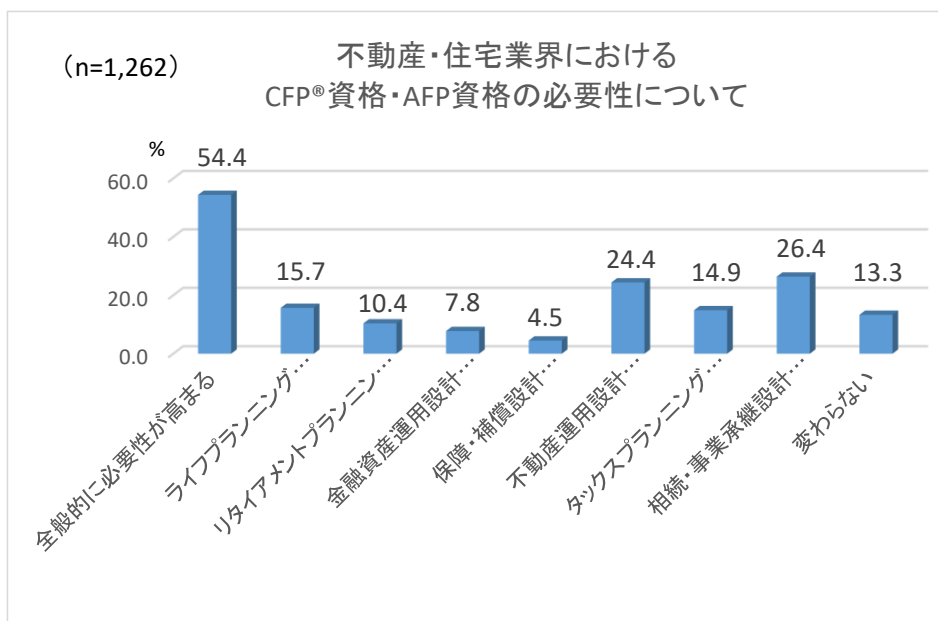
【今後の不動産・住宅業界におけるCFP®資格・AFP資格の必要性】

Q. あなたは、不動産・住宅業界におけるCFP®資格・AFP資格の必要性は今後どのようになるとお考えですか。

あなたのお考えに近いものを選びお答えください(複数回答可)。

⇒「全般的に必要性が高まる」が54.4%でトップ。

一部のFP分野において必要性が高まるという回答のうち、「相続・事業承継設計(26.4%)」と「不動産運用設計(24.4%)」がほぼ同率となった。

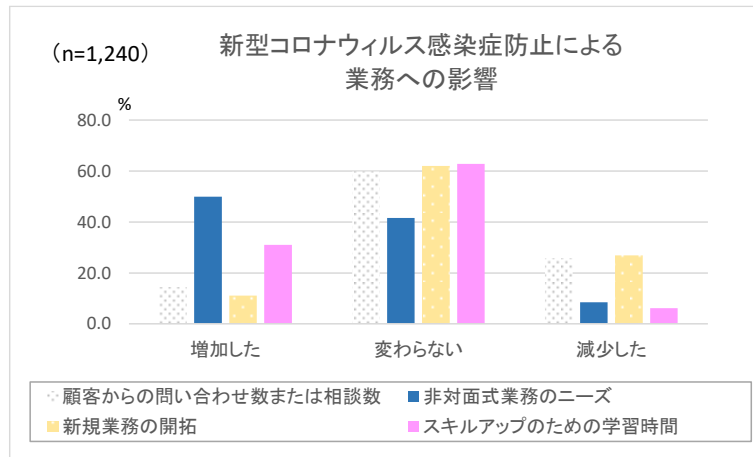


新型コロナウイルス感染症拡大防止による業務への影響

Q. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、あなたの業務に影響があったと思われる項目について教えてください(それぞれひとつずつ)。

⇒「非対面式業務のニーズ」は関東(53.9%)、近畿(53.1%)、北海道(52.1%)の3地域では5割を超えており、他地域との差がみられる。

「スキルアップのための学習時間」は、年代別でみると「30代(44.7%)」と「40代(34.0%)」が増加傾向にある。



		n	増加した	変わらない	減少した
全体		1,240	49.9	41.6	8.5
Q.居住地域	北海道	48	52.1	41.7	6.3
	東北	66	40.9	50.0	9.1
	関東	573	53.9	37.3	8.7
	北陸	49	42.9	49.0	8.2
	東海	109	45.9	45.0	9.2
	近畿	194	53.1	39.7	7.2
	中国・四国	79	38.0	57.0	5.1
	九州	122	44.3	44.3	11.5

		n	増加した	変わらない	減少した
全体		1,240	31.0	62.8	6.1
Q.年代	20代	18	27.8	66.7	5.6
	30代	85	44.7	51.8	3.5
	40代	406	34.0	60.3	5.7
	50代	483	29.0	66.5	4.6
	60代以上	248	25.8	63.3	10.9

日本FP協会が開催しているWebセミナーについて

Q. 日本FP協会では、「不動産・住宅業界におけるFP資格の活用方法」というWebセミナーの開催実績があります。あなたのお考えにもっとも近いものをひとつ選びお答えください。

⇒「興味・関心があり、個人的にWebセミナーに参加してみたい」が46.4%でもっとも高い結果となった。

